

諏訪の景気動向

平成24年 5月

(平成24年 4月末 D・I調査)

平成24年 5月25日
岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫

経営相談室

諏訪地方の景気動向（平成 24 年 4 月末）

「平成 24 年 4 月末アンケート調査および企業訪問ヒアリング調査からまとめた諏訪地方の景況」

諏訪地方 174 社のご協力を得て行った平成 24 年 4 月末の「景気動向調査（D I 調査）」では、回答全社の「3 ヶ月前」と比べた業況判断D I は $\Delta 0.6$ と前回調査時（平成 24 年 1 月末、以下同）の $\Delta 22.1$ から 21.5 ポイント改善した。製造業の業況判断D I は $\Delta 0.8$ と前回調査時の $\Delta 21.7$ から 20.9 ポイント、非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の同D I も 0.0 と前回調査時の $\Delta 23.1$ から上向き、下げ止まり感が見られる。「3 ヶ月後」の業況予想D I は、製造業が $\Delta 2.4$ （前回調査時 $\Delta 8.6$ ）、非製造業が 16.7（前回調査時 $\Delta 13.5$ ）となっている。

製造業の「3 ヶ月前」と比べた業況判断D I は「好転」企業 19.8%、「悪化」企業 20.6%で同D I は $\Delta 0.8$ と前回調査時の $\Delta 21.7$ から 20.9 ポイント改善した。また、「前年同期」と比べた業況判断D I では、「好転」企業が 29.4%、「悪化」企業は 36.5%で、前回より「好転」企業が増加している。また、「3 ヶ月後」の受注予想D I では横ばいとする企業が多いが、「増加」企業 19.4%、「減少」企業 18.5%で同D I は 0.9 と前回調査時の $\Delta 10.1$ からプラスに転じている。業種別の「3 ヶ月前」と比べた受注状況D I では、「精密機械」が 18.2、「電気機械器具」4.5 とプラスに転じている。前回大幅悪化した「輸送用機械」は $\Delta 14.3$ と 17.0 ポイント改善し、「金属製品」も $\Delta 16.6$ で、水面下ながら前回調査時より 12.0 ポイント改善した。

企業規模が大きくなるほど下げ止まり感が出ているが、ヒアリング調査で下請企業からは「コストは下げきって、もう下げられない」「忙しいが儲からない」と、厳しいコストダウン要請や競争激化に対する声もある。また、海外展開が可能な企業と国内の受注が専門の企業との格差の広がりも見られる。これらの課題に加え、不安定な国際情勢や円高、原油高による収益低下、電力事情などへの不安感があり、先行きは慎重な見方が多い。

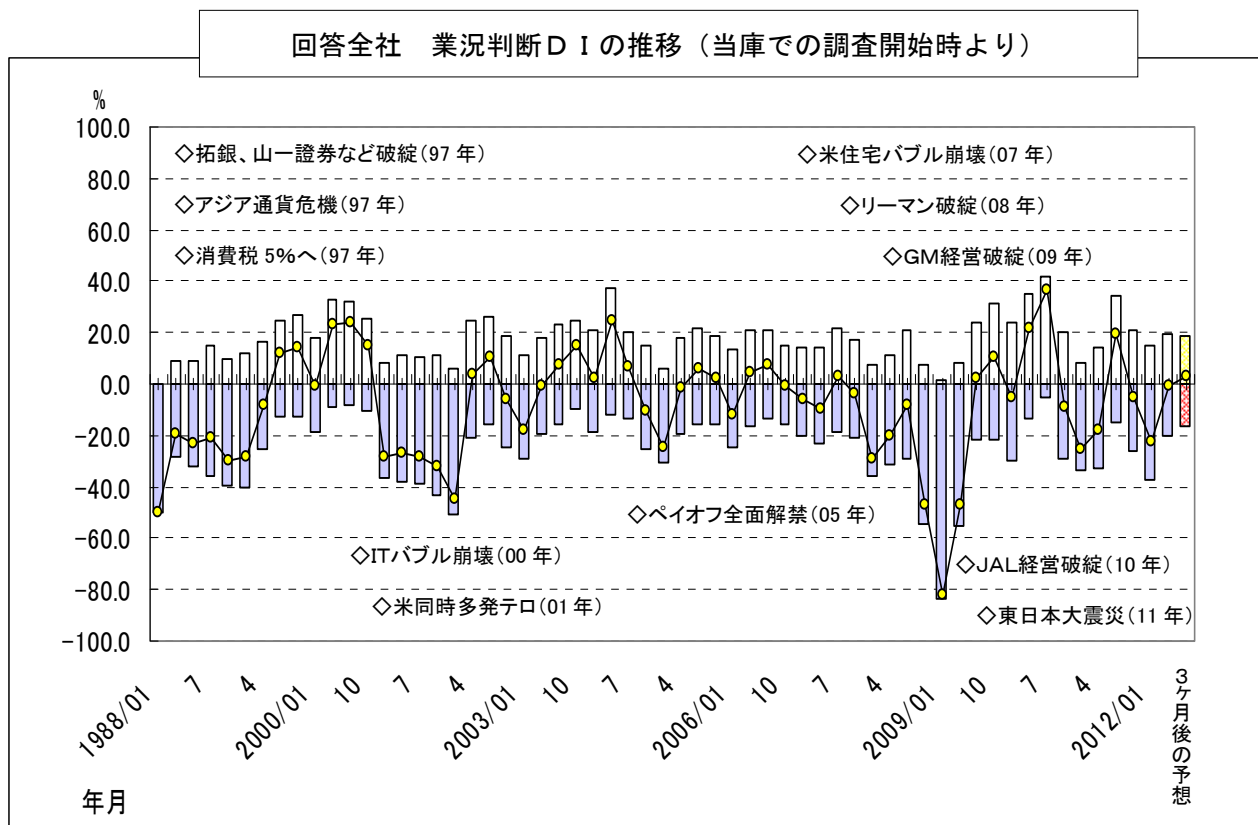
商業の「3 ヶ月前」と比べた業況判断D I は、「横這」店舗が 71.4%と最も多く、「好転」「悪化」とも 14.3%で同D I は 0.0 となり、前回調査時の 20.0 からは下げた。年明けからの低温の影響で高値が続いていた葉物野菜などの店頭価格は、供給が安定してきたことから、4 月下旬から落ち着きを見せている。また、自動車販売では諏訪地方の 4 月の車庫証明件数（軽自動車除く）は 912 台と、エコカー補助金の効果もあり前年同月に比べ+293 台（+47.3%）の増加となった。なお、「3 ヶ月後」の業況判断D I は $\Delta 7.2$ となっている。

観光・サービス業は、「3 ヶ月前」と比べた業況判断D I は 21.1 で、冬の閑散期だった前回の $\Delta 61.9$ から 83.0 ポイント増加しプラスに転じた。諏訪湖周辺の多くのホテル、旅館の宿泊客数は震災の影響を受けた昨年から回復している。高原の観光施設の入り込み客数はGW前半が好調で、天候が悪化した後半はやや低調な推移となった。「3 ヶ月後」の宿泊客数予想D I は 63.2、業況予想D I は 57.9 と大幅な回復が見込まれている。また、昨年は震災の影響で下げた客単価予想D I も 36.8 となっている。

建設業の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは△26.6と前回調査時の△12.5より悪化し、引き続き水面下での推移となっている。また、「3ヶ月前」も「3ヶ月後」も受注状況が「好転」とみる企業は少なく、厳しい環境が続いている。

諏訪地方の平成24年3月の新設住宅着工戸数は54戸と前年同月の55戸に比べ△1戸（△0.02%）の減少となった。また、平成23年4月～平成24年3月1年間の累計着工戸数は1,032戸で前年同期累計比では+78戸（+0.8%）の増加となり、1,000戸の大台を回復した。分譲マンションが数を引き上げたが、持ち家は新築を控える傾向の御柱年から横ばいで、持ち直しの動きは鈍い。4月に地元業者が受注した県関係の公共工事は3件59百万円で、低調なスタートとなった。市町村の4月の発注工事は建築工事18件、土木及び下水道工事32件、その他工事2件の合計52件592百万円だった。

雇用状況は、平成24年3月の諏訪地方の有効求人倍率は前年同月を+0.15ポイント上回り0.83倍となった。また、長野県と同倍率は0.81倍、全国の同倍率は0.76倍となっている。なお、諏訪地域の3月の新規求人数（全数）は1,439人で前年同月比+166人（+13.0%）の増加、新規求職者数は1,284人で前年同月比△49人（△3.7%）の減少となっている。産業別の前年同月比の新規求人数はその他サービス業が+36.3%、製造業が+34.0%、建設業が+25.9%それぞれ増加したが、運輸業では△25.5%減少した。また、1件10人以上の人員整理は0件で、事業主都合による雇用保険資格喪失者は80人と前年同月より△12人減少、前月より+29人増加した。



業況判断DIの推移 「3ヶ月前と比較して」

回答全社（174社）の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「好転」企業が19.5%、「横這」企業が60.3%、「悪化」企業が20.1%で同DIは△0.6と、前回調査時の△22.1から21.5ポイント改善した。

製造業の業況判断DIは「好転」企業19.8%、「悪化」企業20.6%で同DIは△0.8と前回調査時の△21.7から20.9ポイントマイナス幅が縮小した。

また、非製造業（商業、観光・サービス業、建設業）の業況判断DIは0.0と前回調査時の△23.1から改善した。

産業別業況表

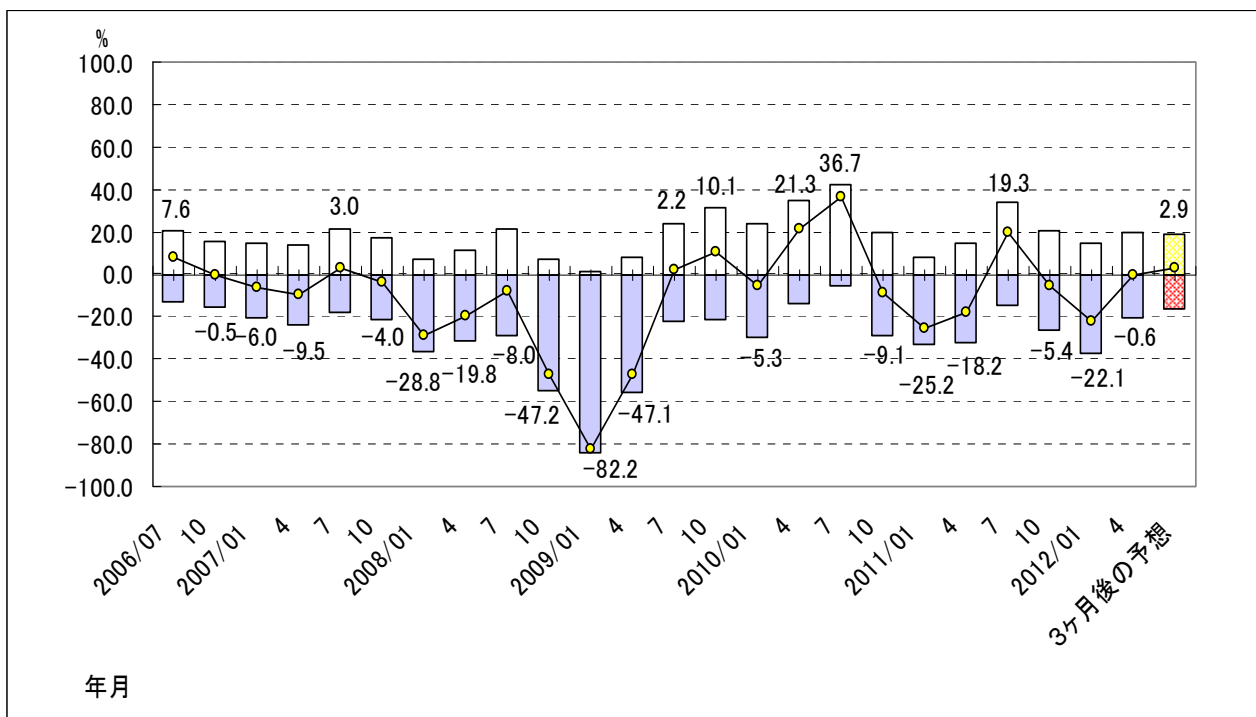
（企業数・%） 表-1

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
全体	174	19.5	60.3	20.1	-0.6	174	29.3	35.6	35.1	-5.8	174	19.0	64.9	16.1	2.9
製造業	126	19.8	59.5	20.6	-0.8	126	29.4	34.1	36.5	-7.1	126	15.9	65.9	18.3	-2.4
非製造業	48	18.8	62.5	18.8	0.0	48	29.2	39.6	31.3	-2.1	48	27.1	62.5	10.4	16.7
商業(大型店)	14	14.3	71.4	14.3	0.0	14	21.4	50.0	28.6	-7.2	14	7.1	78.6	14.3	-7.2
建設業	15	6.7	60.0	33.3	-26.6	15	6.7	46.7	46.7	-40.0	15	0.0	86.7	13.3	-13.3
観光・サービス	19	31.6	57.9	10.5	21.1	19	52.6	26.3	21.1	31.5	19	63.2	31.6	5.3	57.9

自社業況判断DIの推移

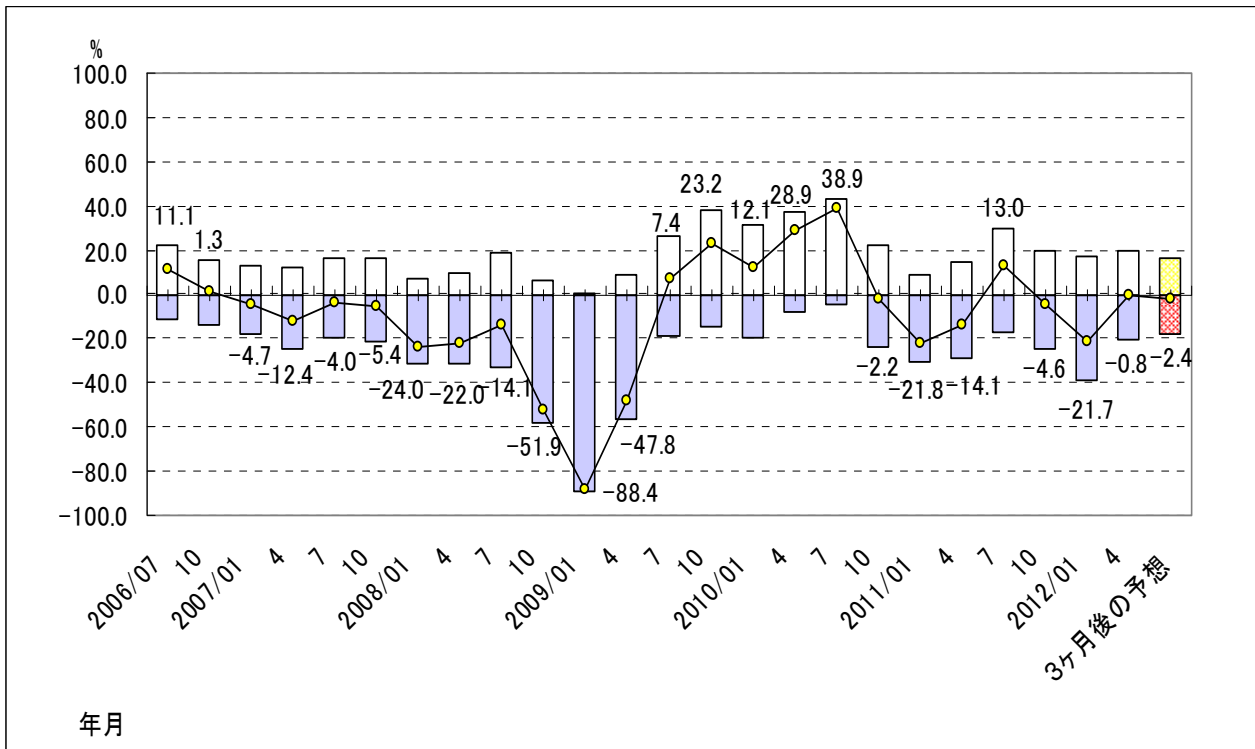
●回答全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-1



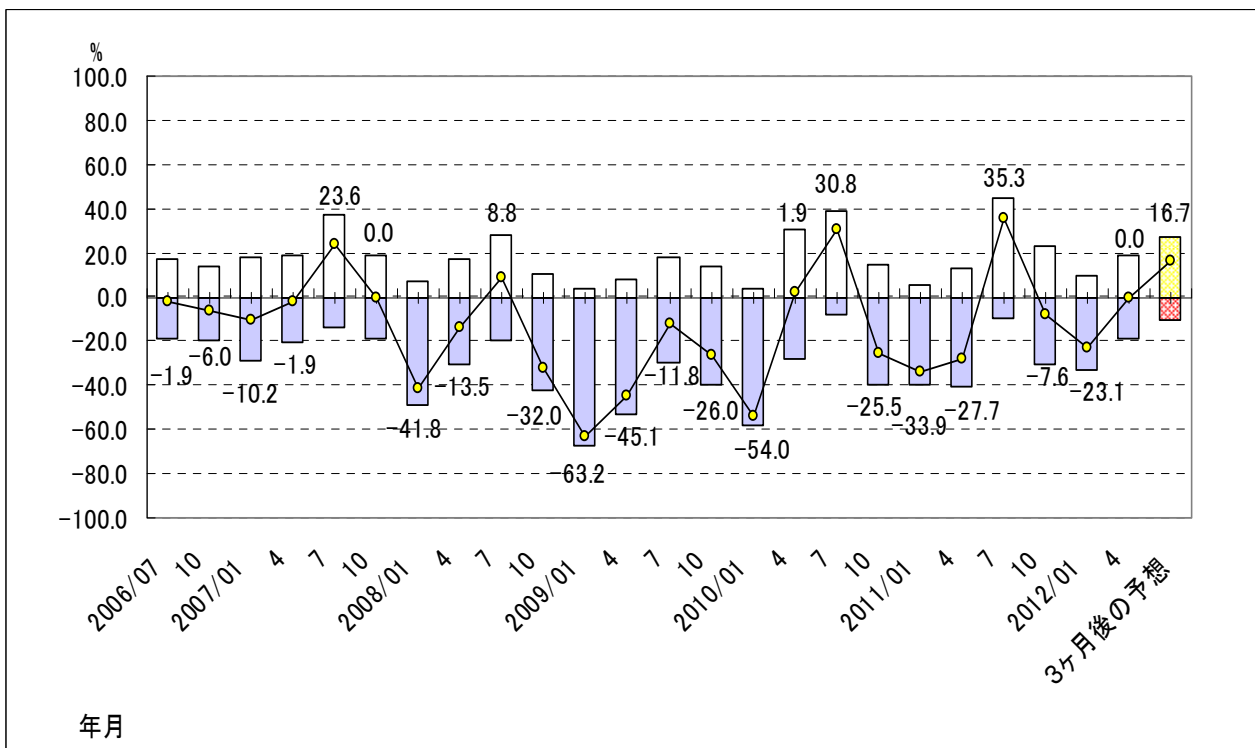
●製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフー2



●非製造業：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフー3



産業別景気動向

1. 製造業

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは「好転」企業 19.8%、「悪化」企業 20.6%で同D Iは $\Delta 0.8$ と、前回調査時の $\Delta 21.7$ から 20.9ポイント改善した。また、「前年同期」と比べた業況判断D Iでも、前回より「悪化」企業の割合が減少したことから、同D Iは $\Delta 7.1$ と改善している。なお、「3ヶ月後」の業況予想D Iでは「横這」とする企業が 65.9%と最も多いものの、「好転」企業 15.9%、「悪化」企業 18.3%で同D Iは $\Delta 2.4$ と水面下ではあるものの、前回調査時の $\Delta 8.6$ から 6.2ポイント回復した。

収益性D Iは「3ヶ月前」との比較では $\Delta 10.3$ と前回調査時の $\Delta 29.4$ からマイナス幅は縮小した。「3ヶ月後」の収益性予想D Iも同様な傾向となっている。

「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iは $\Delta 5.6$ と、前回調査時の $\Delta 27.9$ から 22.3ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の受注予想D Iでは「増加」企業 19.4%、「減少」企業 18.5%で同D Iは 0.9と、前回調査時の $\Delta 10.1$ から改善しプラスに転じた。

規模別の「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは、「1～29人企業」は $\Delta 10.9$ と水面下にあるものの、「30～99人企業」が 5.0、「100人以上企業」が 18.2とプラスとなり、規模が大きいほど改善幅は大きくなった。

業種別（主要5業種）の「3ヶ月前」と比べた業況判断では、ほとんどの業種が改善傾向を示している。精密機械が 18.2と改善し、前回の同D Iが $\Delta 18.8$ と大幅に悪化した「輸送用機械」も 7.1と改善した。一般機械は「横這」が多く、「好転」、「悪化」の割合が拮抗するなど景況感は企業により区々となっている。電気機械の同D Iは $\Delta 8.7$ と水面下だが、前回調査時の $\Delta 42.3$ から 33.6ポイント改善している。

製造業 業種別・規模別の自社業況表

表-2

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想					
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	
製造業	126	19.8	59.5	20.6	-0.8	126	29.4	34.1	36.5	-7.1	126	15.9	65.9	18.3	-2.4	
規模	1～29人	64	12.5	64.1	23.4	-10.9	64	20.3	39.1	40.6	-20.3	64	7.8	68.8	23.4	-15.6
	30～99人	40	30.0	45.0	25.0	5.0	40	40.0	32.5	27.5	12.5	40	17.5	67.5	15.0	2.5
	100人～	22	22.7	72.7	4.5	18.2	22	36.4	22.7	40.9	-4.5	22	36.4	54.5	9.1	27.3
分類	金属製品製造業	18	22.2	50.0	27.8	-5.6	18	16.7	44.4	38.9	-22.2	18	16.7	61.1	22.2	-5.5
	一般機械器具製造業	30	16.7	66.7	16.7	0.0	30	36.7	40.0	23.3	13.4	30	10.0	70.0	20.0	-10.0
	電気機械器具製造業	23	13.0	65.2	21.7	-8.7	23	34.8	21.7	43.5	-8.7	23	17.4	60.9	21.7	-4.3
	輸送用機械器具製造業	14	7.1	92.9	0.0	7.1	14	35.7	21.4	42.9	-7.2	14	21.4	64.3	14.3	7.1
	精密機械器具製造業	11	45.5	27.3	27.3	18.2	11	36.4	36.4	27.3	9.1	11	18.2	63.6	18.2	0.0

①諏訪地方製造品出荷額の70%を占める中分類5業種の業況

●金属製品(プレス、メッキ、熱処理など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断は「好転」した企業が22.2%、「悪化」した企業が27.8%で、同DIは $\Delta 5.6$ と前回調査時の $\Delta 21.4$ から15.8ポイント改善した。「前年同期比」の業況判断DIは $\Delta 22.2$ だった。「3ヶ月後」の業況予想DIでは「好転」と「悪化」の企業割合が「3ヶ月前比」と類似し、同DIは $\Delta 5.5$ となっている。

●一般機械(工作機械、専用機械、省力機械、検査機械、半導体関連製造設備など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断では「好転」企業と「悪化」企業が同数で、同DIは0.0となった。また、「前年同期比」の業況判断DIは13.4と改善しているものの、「3ヶ月後」の予想は「横這」企業が多く、同DIは $\Delta 10.0$ と、5業種中最も慎重な見方となっている。

●電気機械(家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、デジタルカメラなど)

前回調査の「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは $\Delta 42.3$ と、5業種中最もマイナス幅が大きかったが、今回は $\Delta 8.7$ と改善している。しかし、依然「3ヶ月前」「前年同期」「3ヶ月後」ともマイナス傾向となっている。なお、「3ヶ月後」の業況予想DIでは「横這」企業が60.9%を占め、回復への動きは鈍い見込み。

●輸送用機械(自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など)

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIでは、前回の $\Delta 18.8$ から7.1とプラスに転じた。また、「前年同期比」の業況判断はマイナスだが、「3ヶ月後」の業況予想DIは「横這」企業が64.3%と多いものの、同DIは7.1と改善が見込まれている。

●精密機械(時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など)

「3ヶ月前比」で「好転」した企業が45.5%と5業種中最も多く、業況判断DIは18.2となった。一方、先行きに関して、「3ヶ月後」の業況予想DIでは「好転」、「悪化」企業とも18.2%で同DIは0.0と企業によって区々の見方となっている。

②規模別業況

「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは、全ての規模で前回調査から改善した。その改善幅は規模が大きいほど大きく、30人以上の規模はプラスに転じている。一方、「1~29人企業」は前回より改善しているものの依然水面下で、「3ヶ月後」の業況予想では、30人以上の企業は「好転」予想が「悪化」予想を上回るのに対して、「1~29人企業」は「悪化」予想の企業が多く同DIは $\Delta 15.6$ となっている。

③受注状況DI（規模別、業種別）

製造業全社の「3ヶ月前」と比べた受注状況は「増加」企業 23.0%、「減少」企業 28.6%で同DIは△5.6と、前回調査時の△27.9から 22.3ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の受注予想DIでは「不変」企業の割合が 62.1%と最も多いものの、「増加」企業 19.4%、「減少」企業 18.5%で同DIは 0.9とプラスに転じた。

規模別の受注状況では「1～29人企業」の 35.9%で「3ヶ月前」に比べ受注が「減少」したとして、同DIは△20.3となったが、前回調査時の△34.9からは改善した。また、「前年同期比」でも「1～29人企業」のマイナス幅が一番大きく、「30～99人企業」、「100人以上企業」と、規模が大きくなるほどマイナス幅は小さくなっている。一方、「3ヶ月後」の受注予想では「1～29人企業」の同DIは△12.9とマイナスながらも前回調査時よりやや改善しており、「30～99人企業」でも前回調査時の 4.8から 7.5へ、「100人以上企業」も前回調査時の△12.5から 27.3へと改善している。

業種別（主要5業種）の「3ヶ月前」と比べた受注状況DIは、「精密機械」で「好転」企業が 45.5%あり、同DIは 18.2となった。また、「電気機械」は「3ヶ月前」に比べたDIは 4.5で、「3ヶ月後」の予想DIも 9.1となっている。「輸送用機械」は「3ヶ月前比」では△14.3だが、「3ヶ月後」の同DIは 7.7と「好転」を見込む企業が増えている。半面、「一般機械」は「前年同期比」ではプラスだが、「3ヶ月前比」では「減少」企業が多く、「3ヶ月後」の予想は△13.3と減少予想が増加予想を上回っている。「金属製品」は「3ヶ月前比」では△16.6だが、「3ヶ月後」は△5.5とマイナス幅は縮小している。

業種別・規模別受注状況表

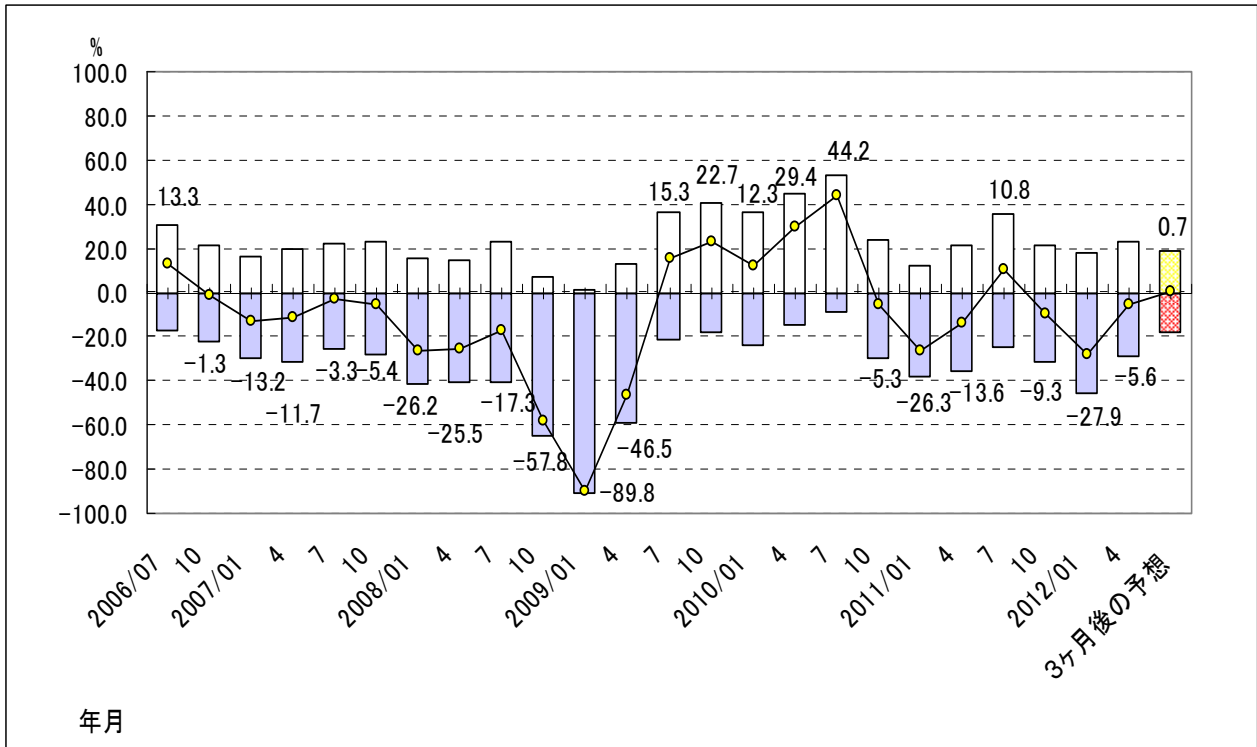
表-3

		3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
		回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI	回答企業	増加	不変	減少	DI
製造業		126	23.0	48.4	28.6	-5.6	125	32.8	26.4	40.8	-8.0	124	19.4	62.1	18.5	0.9
規模	1～29人	64	15.6	48.4	35.9	-20.3	63	25.4	33.3	41.3	-15.9	62	11.3	64.5	24.2	-12.9
	30～99人	40	35.0	37.5	27.5	7.5	40	40.0	25.0	35.0	5.0	40	20.0	67.5	12.5	7.5
	100人～	22	22.7	68.2	9.1	13.6	22	40.9	9.1	50.0	-9.1	22	40.9	45.5	13.6	27.3
中分類	金属製品製造業	18	16.7	50.0	33.3	-16.6	18	16.7	38.9	44.4	-27.7	18	16.7	61.1	22.2	-5.5
	一般機械器具製造業	31	16.1	58.1	25.8	-9.7	30	40.0	26.7	33.3	6.7	30	10.0	66.7	23.3	-13.3
	電気機械器具製造業	22	22.7	59.1	18.2	4.5	22	40.9	13.6	45.5	-4.6	22	22.7	63.6	13.6	9.1
	輸送用機械器具製造業	14	7.1	71.4	21.4	-14.3	14	35.7	21.4	42.9	-7.2	13	23.1	61.5	15.4	7.7
	精密機械器具製造業	11	45.5	27.3	27.3	18.2	11	36.4	27.3	36.4	0.0	11	18.2	63.6	18.2	0.0

製造業の受注状況D Iの推移

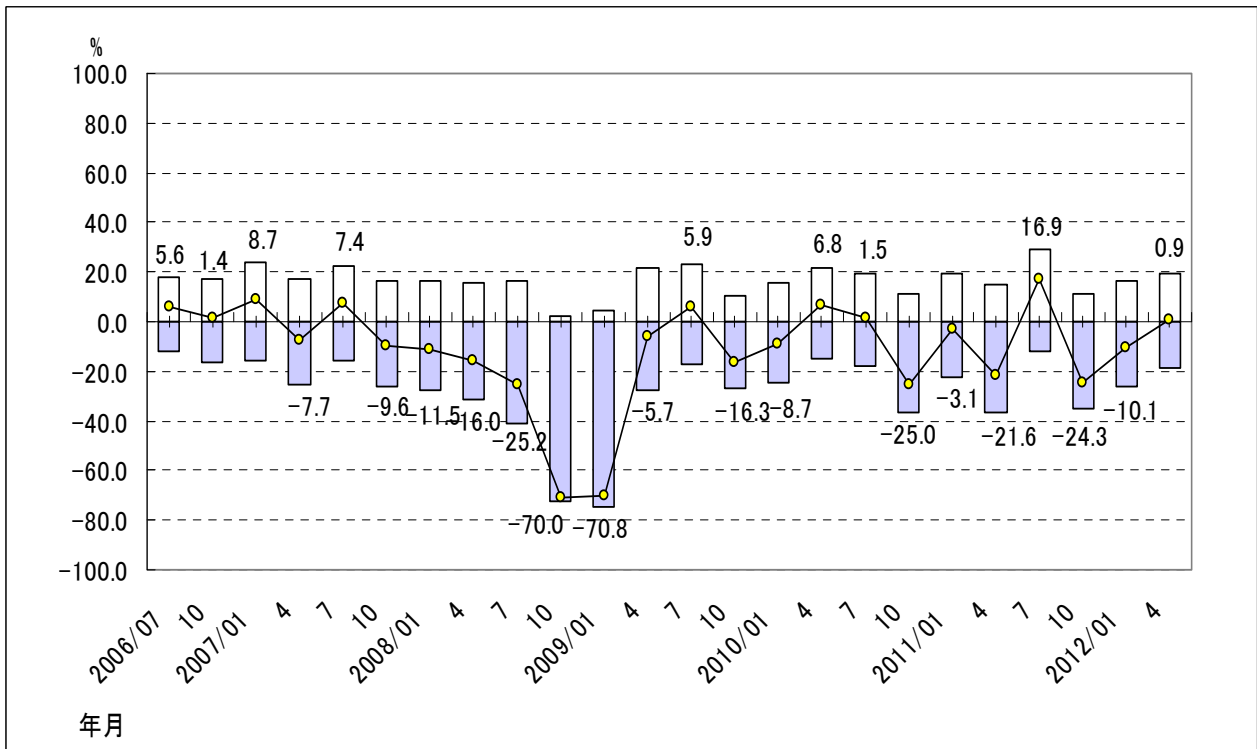
●製造業全社：「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iの推移

グラフー4



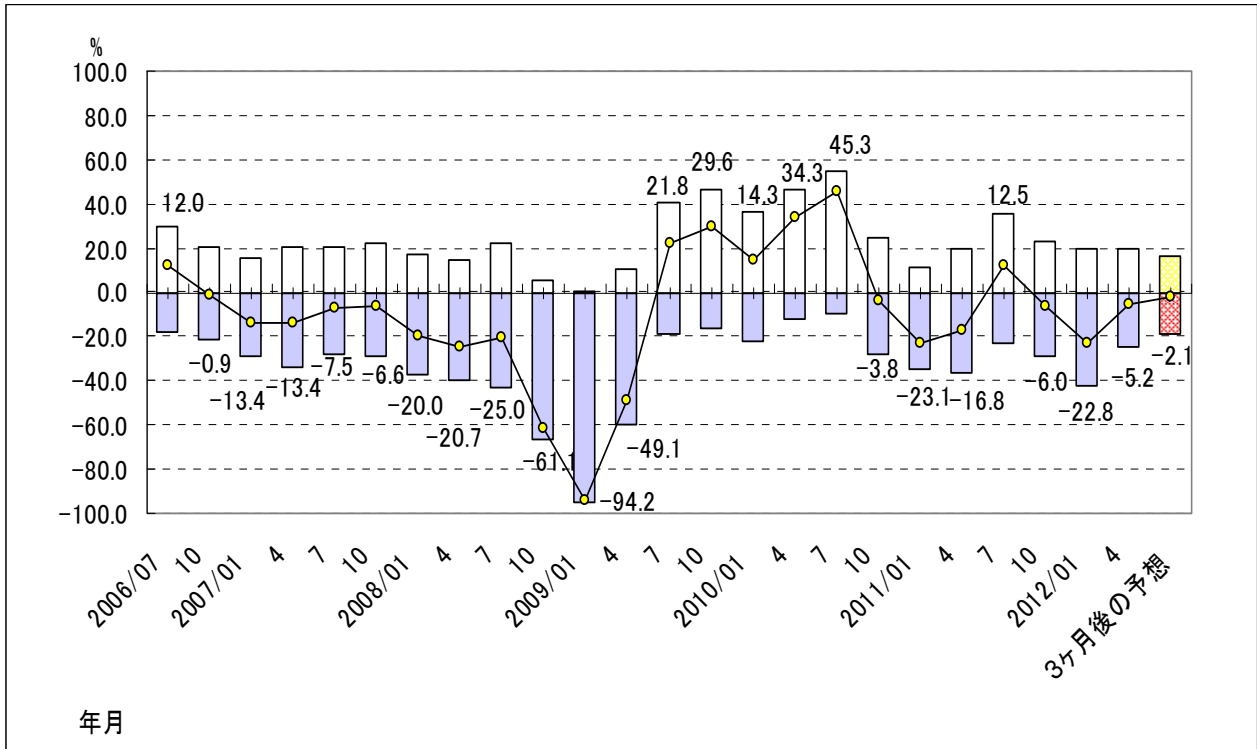
●製造業全社：「3ヶ月後」の受注予想D Iの推移

グラフー5



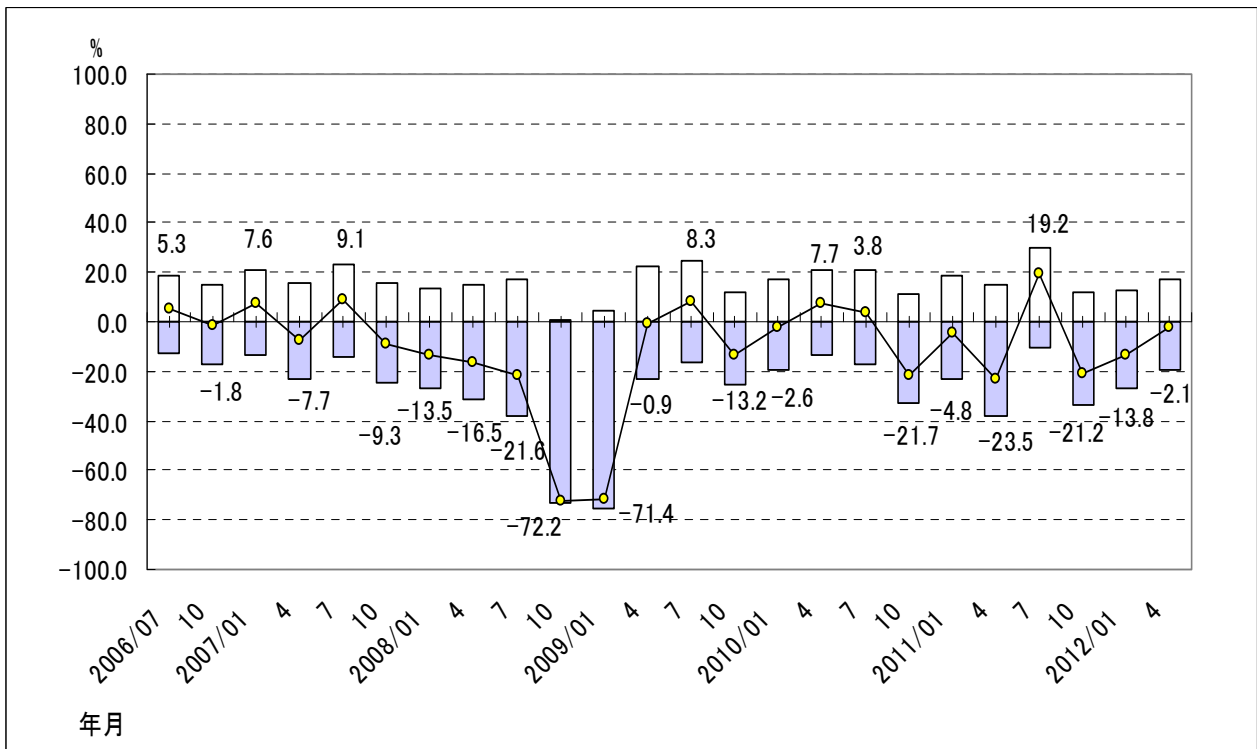
●製造業 主要5業種：「3ヶ月前」と比べた受注状況D Iの推移

グラフー6



●製造業 主要5業種：「3ヶ月後」の受注予想D Iの推移

グラフー7



2. 商業・観光サービス業

①商業

諏訪地方の4月の天候は、数日の周期で変わり、気温は上旬が低かったものの、下旬はかなり高くなった。「3ヶ月前」と比べた業況判断DIは「横這い」とする企業が71.4%と多く同DIは0.0となっている。好調な自動車販売をはじめ、総体的には売上が増加傾向で、消費意欲も上昇しているとみられる。一部の地域では施設のオープンやリニューアルで価格競争の激化が予想されたり、円高など経済の不安要素が消費マインドを低下させることも懸念され「3ヶ月後」の業況判断DIは△7.2となっている。

- 食料品 年明けから低温の影響で高値が続いていた葉物野菜などの店頭価格は供給が安定し、4月下旬ごろから落ち着きをみせている。
- 衣料品 気温が上昇し始めた下旬には初夏物等に動きが出始めた。
- 自動車 諏訪地方の4月の車庫証明件数（軽自動車除く）は912台で昨年の震災の反動とエコカー補助金の効果で前年同月に比べ+293台(+47.3%)の増加となった。
- 家電店 通常需要の横這い状態、太陽光発電やスマートフォン販売への注力がきかれる。
- ホームセンター 天候の影響でお花見などの行楽用品や園芸用品などの動きは鈍かった。

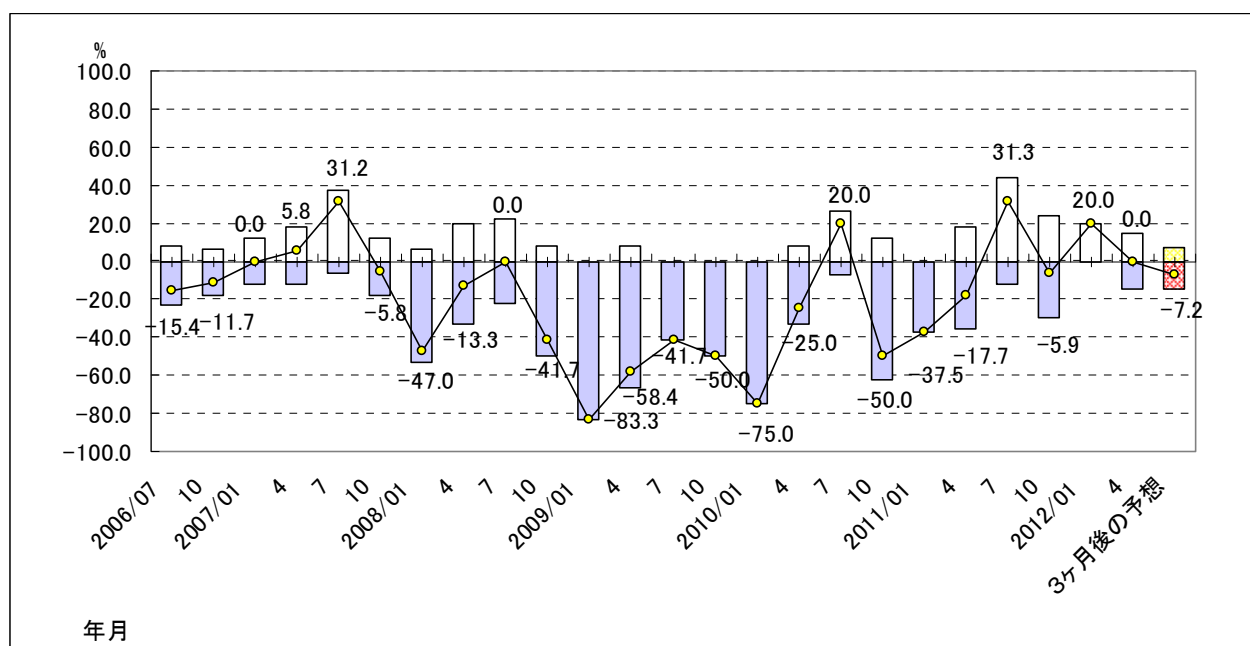
業況、客単価、来店客数

表-4

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	14	14.3	71.4	14.3	0.0	14	21.4	50.0	28.6	-7.2	14	7.1	78.6	14.3	-7.2
客単価	14	14.3	78.6	7.1	7.2	14	14.3	71.4	14.3	0.0	14	7.1	85.7	7.1	0.0
来店客数	14	7.1	64.3	28.6	-21.5	14	21.4	50.0	28.6	-7.2	14	14.3	64.3	21.4	-7.1

●商業全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断DIの推移

グラフ-8



②観光・サービス業

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは前回の△61.9から21.1へ大幅改善した。また、「前年同期」と比べた業況判断D Iも31.5と前回調査時の△19.0から50.5ポイントの大幅な改善となった。「3ヶ月後」の宿泊客数予想D Iは63.2、業況予想D Iも57.9と大幅な回復が見込まれている。なお、客単価予想D Iも36.8とプラスとなっている。ただし、昨秋の観光シーズンは東北方面からの団体客の振替需要等もあり、入り込み客数は好調であったが、今年は逆に同方面へ観光客が流れる影響が懸念されている。

- 上諏訪温泉 桜の開花が遅れ、団体客のキャンセルなどで前半は低調だったが、後半は盛り返し、湖畔のホテル、旅館は震災の影響を大きく受けた前年比で売上増の施設が多い。
- 蓼科・白樺湖・ 施設により区々だが、ゴルフ場のキャンセルや飛び込み客の減少など、天候に車山方面ほか 左右された施設が多い。夏場の林間学校や合宿などの予約は例年並みの模様。
- 諏訪大社 上社・下社合わせた4月の参拝者数は約53千人と、前年同月比約+15千人の増加となった。下社は4月としては御柱年以外の前年を上回った。

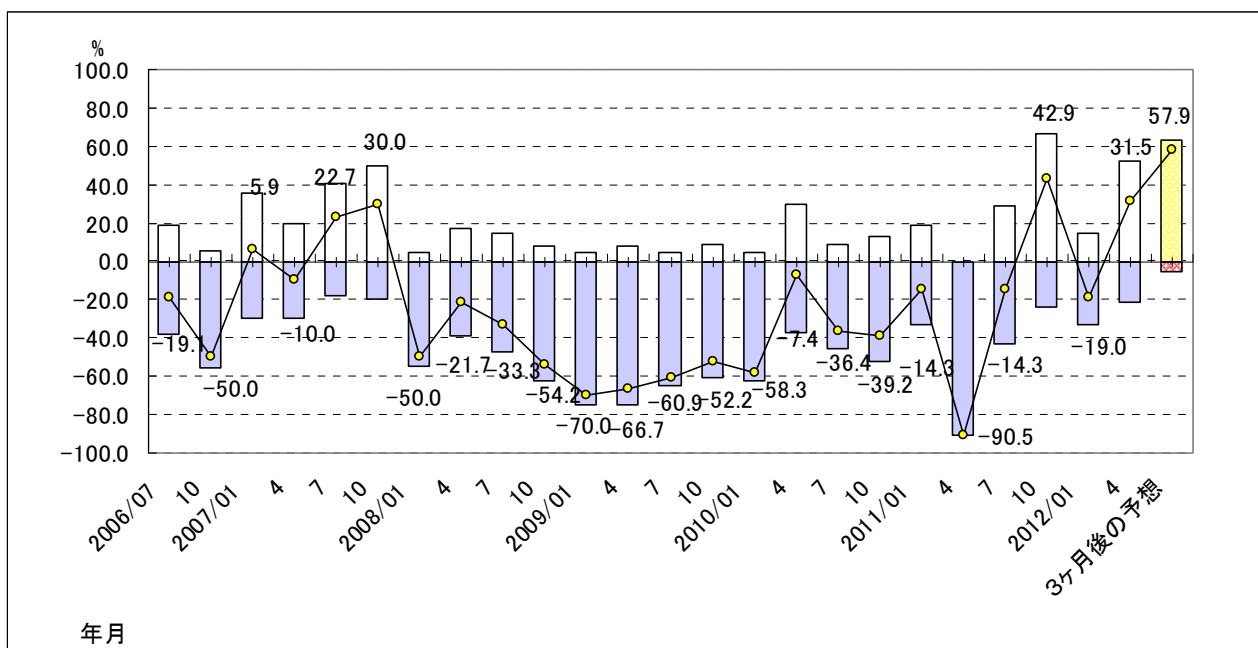
業況、売上、宿泊客

表-5

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	19	31.6	57.9	10.5	21.1	19	52.6	26.3	21.1	31.5	19	63.2	31.6	5.3	57.9
客単価	19	5.3	78.9	15.8	-10.5	19	26.3	57.9	15.8	10.5	19	36.8	63.2	0.0	36.8
宿泊客数	19	36.8	42.1	21.1	15.7	19	52.6	26.3	21.1	31.5	19	63.2	36.8	0.0	63.2

●観光・サービス業全社：「前年同期」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-9



3. 建設業

「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iは△26.6と前回調査時の△12.5に続き、水面下での推移となっている。「3ヶ月前」と比べて「業況」、「受注状況」、「外注発注量」が「好転」した企業が少ない厳しい環境が続き、「3ヶ月後」の予想も好転材料が少なく、厳しい見方となっている。

●建築工事

諏訪地方の平成24年3月の新設住宅着工戸数は54戸と前年同月の55戸に比べ△1戸(△0.02%)の減少となった。また、平成23年4月～平成24年3月1年間の累計着工戸数は1,032戸で前年同期累計比では+78戸(+0.8%)の増加となり、1,000戸の大台を回復した。なお、長野県全体の平成24年3月の新設住宅着工戸数は734戸で前年同月比△0.9%と、2カ月連続で減少した。

●公共工事

4月に地元業者が受注した県関係の公共工事は3件59百万円で、市町村の発注工事は建築工事18件、土木及び下水道工事32件、その他工事2件の合計52件592百万円だった。

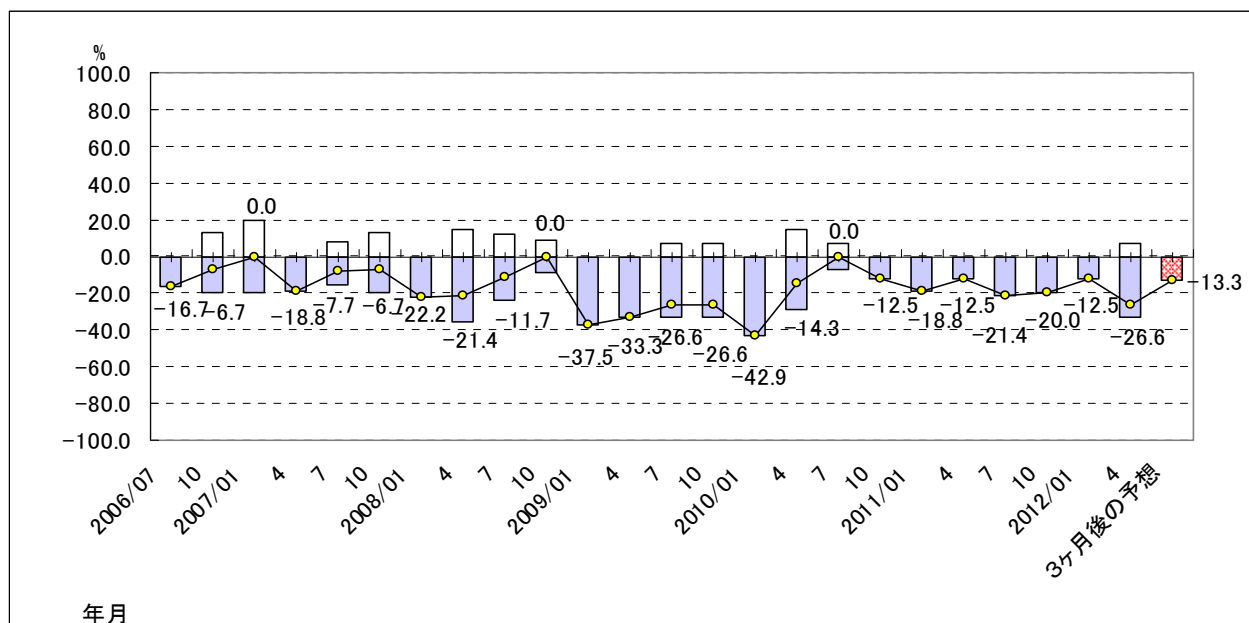
業況、受注状況、外注発注量

表-6

	3ヶ月前と比べて					前年同期と比べて					3ヶ月後の予想				
	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI	回答企業	好転	横這	悪化	DI
業況	15	6.7	60.0	33.3	-26.6	15	6.7	46.7	46.7	-40.0	15	0.0	86.7	13.3	-13.3
受注状況	15	0.0	40.0	60.0	-60.0	15	13.3	33.3	53.3	-40.0	15	0.0	60.0	40.0	-40.0
外注発注量	15	6.7	33.3	60.0	-53.3	15	13.3	40.0	46.7	-33.4	15	0.0	73.3	26.7	-26.7

●建設業全社：「3ヶ月前」と比べた業況判断D Iの推移

グラフ-10



4. 収益性状況

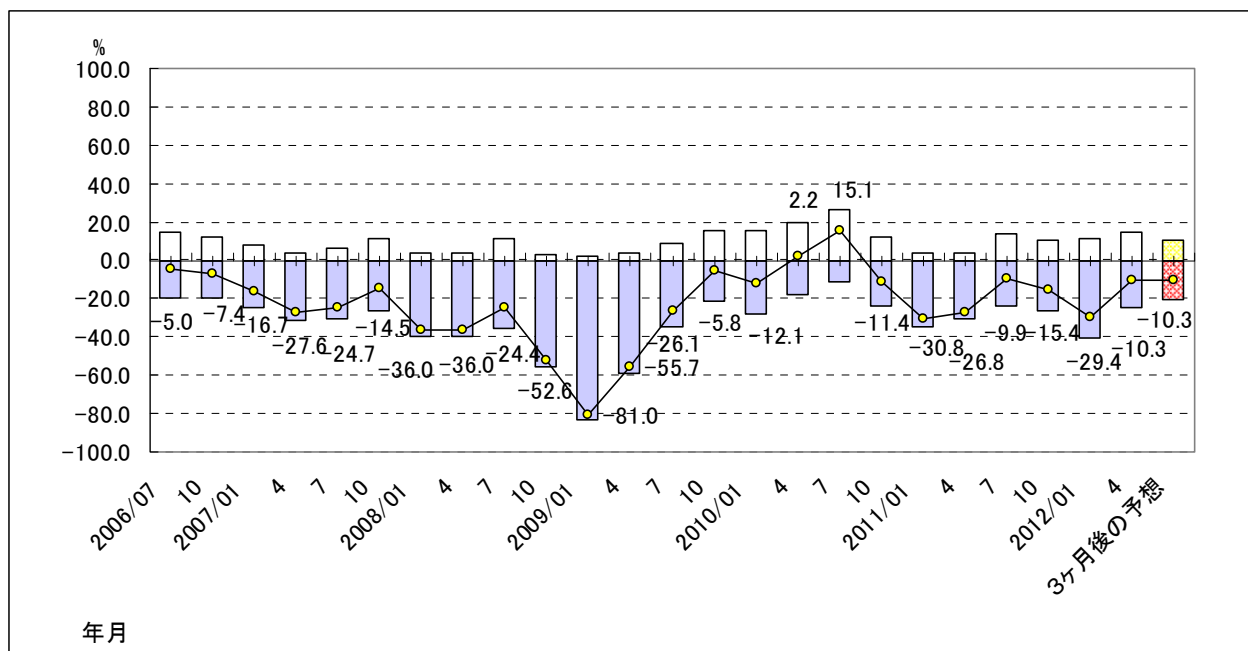
回答全社の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 13.9%、「悪化」企業 24.3%で、同D Iは $\Delta 10.4$ と前回調査時の $\Delta 32.1$ から 21.7 ポイントの改善となった。

製造業の「3ヶ月前」と比べた収益性は「好転」企業 14.3%、「悪化」企業 24.6%で同D Iは $\Delta 10.3$ と前回調査時の $\Delta 29.4$ から 19.1 ポイント改善した。また、「3ヶ月後」の収益性予想D Iは $\Delta 10.3$ で「横這」企業の割合が 69.0%と最も多いものの、前回調査時の $\Delta 17.1$ からさらに改善した。

非製造業の「3ヶ月前」と比べた同D Iは $\Delta 10.6$ と、前回調査時の $\Delta 38.5$ から 27.9 ポイント改善した。

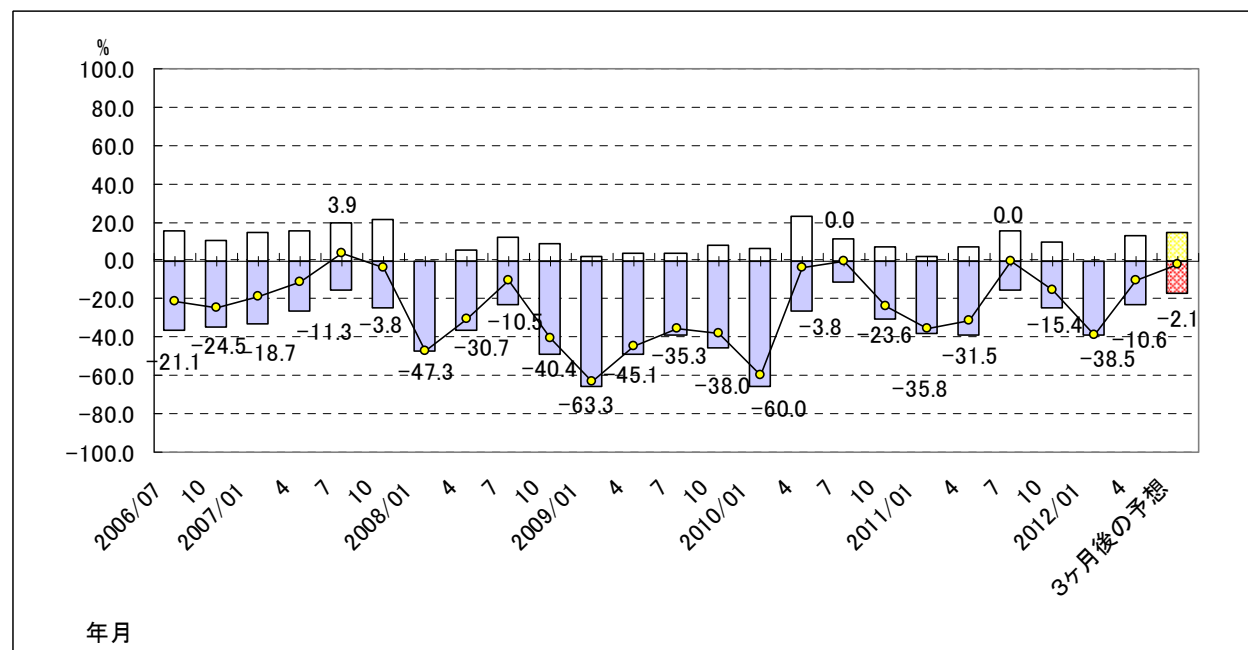
●製造業：3ヶ月前と比べた収益性D I

グラフー11



●非製造業：3ヶ月前と比べた収益性D I

グラフー12



5. 経営上の課題

経営上の課題として①製造業は売上減少、単価引下げ、競争激化をあげる企業が多く、②商業は、売上減少、競争激化、③建設業は売上減少、競争激化、④観光・サービス業は売上減少、資金繰りなどがあげられている。

経営上の課題	合計	製造業	商業	建設業	観光・サービス業
売上減少	87	64	4	9	10
単価引下げ	48	43	1	2	2
競争激化	45	30	4	7	4
資金繰り	38	27	1	3	7
人件費	24	16	3	1	4
労働力確保	16	10	1	1	4

6. 諏訪地方主要経済指標

主要指標		実数	前年同期比	
有効求人倍率【3月】	ハローワーク諏訪	0.83倍	+0.15ポイント	
手形交換高【4月】 (諏訪手形交換所扱)	枚数	6,795枚	+982枚	
	金額	11,477百万円	+1,525百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	2枚	+1枚
	金額	2,048千円	+1,782千円	
電力使用量【4月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	65,422 MWh	△5.4%	
	高压電力計	94,714 MWh	△5.0%	
	合計	160,136 MWh	△5.2%	
車庫証明取扱件数【4月】	(諏訪地方合計)	912件	+47.3%	
新設住宅着工戸数【H23. 4~24. 3】	(諏訪管内)	1,032戸	+0.8%	

7. 調査概要

DI調査：業況が「好転」と答えた企業割合から「悪化」と答えた企業割合を引いた数値

①調査期間 平成24年4月末

②調査内容 「平成24年4月末」の実績と、「3ヶ月前」と「前年同期」の業績比較及び「3ヶ月後」の予想

③調査方法 アンケート調査（回答数 下記⑦）及びヒアリング調査（約130社）

④対象地域 諏訪地域全域

⑤業種 製造業、商業（大型店：売り場面積501㎡以上）、建設業、観光・サービス業

⑥回答企業数 174企業

⑦回答率 65.2%

	製造業	商業	建設業	観光・サービス業	合計
依頼数	200	20	20	27	267
回答数	126	14	15	19	174